

公立大学法人大阪

第1期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果の概要

大阪府市公立大学法人大阪評価委員会
(事務局 大阪府府民文化部門府民文化総務課)

公立大学法人大阪の第1期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府市公立大学法人大阪評価委員会による評価を受けることとなっており、令和5年8月7日に開催された令和5年度第4回評価委員会において、第1期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「全体として目標を十分に達成する見込みである」

○ 大項目について、すべての項目において、A評価（中期目標の達成状況が良好である）であることを確認した。

大項目	評価					主な判断理由・特記事項
大阪公立大学に関する目標	S	A	B	C	D	課外活動支援、キャリア支援、研究力の強化、諸機関との連携、生涯学習への貢献において、中期計画を上回って達成する見込みがあり、他の項目についても中期計画を十分に達成する見込みがあると判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。
大阪公立大学工業高等専門学校に関する目標	S	A	B	C	D	高度な実践的技術者を育成するため、数理・データサイエンス・AI教育プログラムを実施し、高専教育の充実に取り組むなど、中期計画を十分に達成する見込みがあると判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。
大阪府立大学及び大阪市立大学に関する目標	S	A	B	C	D	大阪府立大学及び大阪市立大学のキャリア支援について、中期計画を上回って達成する見込みがあり、他の項目についても中期計画を十分に達成する見込みがあると判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。
業務運営の改善及び効率化に関する目標	S	A	B	C	D	教職員の女性比率の向上や外国籍教員の採用等、ダイバーシティの推進やDX（デジタルトランスフォーメーション）の実現に向けて取り組むなど、中期計画を十分に達成する見込みがあると判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。
財務内容の改善に関する目標	S	A	B	C	D	外部資金の獲得について、目標を達成する見込みであり、業務の効率化および適正化においては、費用対効果の観点から事業を精査するなど、中期計画を十分に達成する見込みがあると判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。
自己点検・評価及び情報提供に関する目標	S	A	B	C	D	大学の広報において、大学ブランドイメージのさらなる定着に向けて、国内外で積極的な広報活動に取り組むなど、中期計画を上回って達成する見込みがあり、他の項目についても中期計画を十分に達成する見込みがあると判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。
その他業務運営に関する重要目標	S	A	B	C	D	すべての項目において、中期計画を十分に達成する見込みがあると判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。

※評価区分 S：非常に優れている A：良好である B：おおむね良好である C：不十分である D：重大な改善事項あり